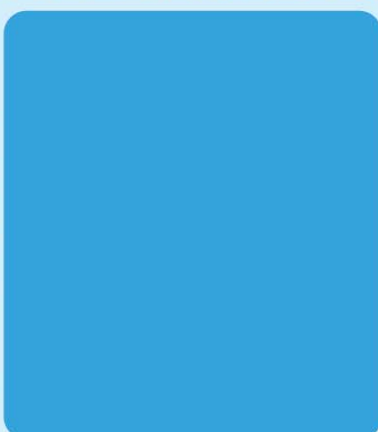
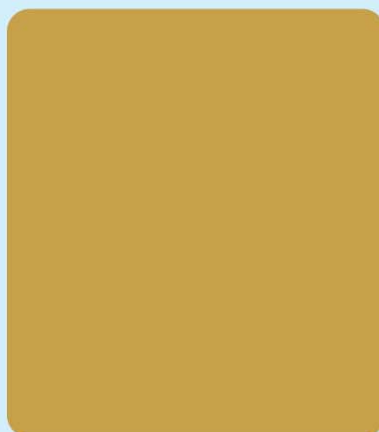
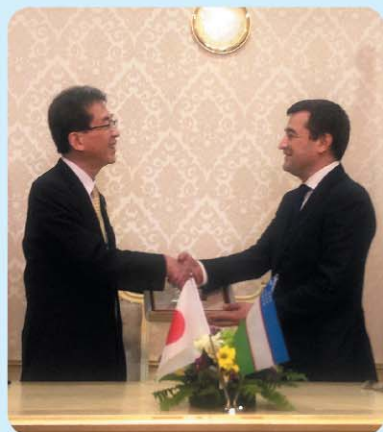


# 国際交流 2017

平成29年国際交流報告書

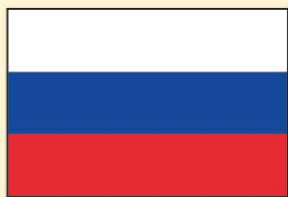


International Exchange  
MAIZURU 2017

舞鶴市







## 姉妹都市 ナホトカ市 (ロシア連邦) Nakhodka



### 姉妹都市提携年月日

1961年6月21日



### ナホトカ市の概要

ナホトカ市はロシア連邦沿海地方の南東部位置し、面積約325.9Km<sup>2</sup>、人口約15万1千人(2017年1月現在)を有する都市です。19世紀半ば過ぎにロシアの軍艦「アメリカ号」が偶然発見したのが都市の起源であり、「ナホトカ」には、ロシア語で「見つけもの」の意味があります。日本との時差は+1時間。

**産業：**舞鶴と同じ天然の良港を有する国際港湾都市で、主な産業は、海上輸送、漁業、石油製品卸、建設業、商業です。また、シベリア鉄道の東端に位置しているため、遠くロシア西部やヨーロッパをも後背地とする重要な物流港です。

**気候：**モンスーン型気候で1月の平均気温は-13℃、8月の平均気温は18℃、年間平均降水量は740mm。

**その他の姉妹都市：**敦賀市・小樽市(日本)、吉林市(中国)、東海市(韓国)、オークランド市・ベリンガム市(アメリカ)、プーケット州(タイ)



ナホトカ市庁舎



### ナホトカ市との交流

1956年日ソ共同宣言の調印により、舞鶴市では引揚者の乗船港としても縁の深いナホトカ市と貿易で友好を深め、日ソ両国の友好強化に寄与しようという機運が高まり、1956年に舞鶴市議会において、ナホトカ市に対する友好決議が行われました。1961年6月、ドウボフカ・ナホトカ市長を舞鶴市に迎え、日本とソビエト連邦(当時)との間で初めてとなる姉妹都市提携が実現しました。以来今日まで、両市の間では「日本海を平和の海に」を合言葉に、スポーツ交流団の相互派遣、少年使節団の交換、通信体育競技会の実施など活発な交流が展開され、2016年には、姉妹都市提携55周年を迎えました。



舞鶴市・ナホトカ市友好の碑



ナホトカ港の様子



カザンスキー教会





# 友好都市 大連市 (中国) Dalian

## 友好都市提携年月日

1982年5月8日

## 大連市の概要

大連市は中国東北部遼東半島最南端に位置し(緯度は日本の山形県酒田市とほぼ同じ)、東は黄海、西は渤海、南に海を隔てて山東半島を望む港湾工業都市です。人口約595万6千人(2016年現在)、面積約12,574Km<sup>2</sup>。1899年にロシア人が大連港の建設を開始したのが都市としての始まりです。日本との時差は-1時間。

**産業：**古くから造船・石油化学など重工業の拠点でしたが、改革開放後、東北地方においていち早く市場経済化に取り組みました。90年代からは日系を中心とする外資系製造業の誘致に成功し、近年は海外IT企業の進出も目覚ましく、環境技術の導入にも力を入れています。一方、観光産業における発展も目覚しく、「アカシア祭り」「国際砂浜文化祭り」「国際マラソン大会」など季節ごとにイベントが開催され、多くの外国人観光客で賑わっています。

**気候：**暖温帯大陸性モンスーン気候で、四季がはっきりしています。年間平均気温は10.5℃、年間降水量は550~950ミリ。

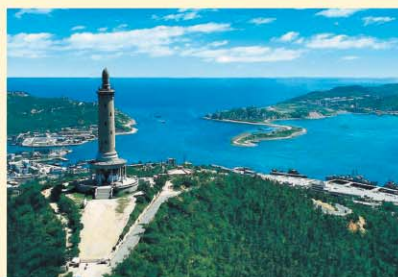
**その他の姉妹都市：**北九州市(日本)、ブレーメン市・ロストック市(ドイツ)、グラスゴー市(イギリス)、ル・アーヴル市(フランス)、オークランド市(アメリカ)、ウラジオストク市(ロシア)、ポワントノワール市(コンゴ共和国)



大連市人民政府庁舎

## 大連市との交流

舞鶴市では、地理的な条件や引き揚げ等の歴史的な経過から、大連市(当時旅大市)との友好交流を望む市民の声が強くありました。1978年の日中平和友好条約の締結により、舞鶴市としても友好都市提携実現に向け、関係機関への働きかけや経済・貿易関係の交流を積極的に展開した結果、1982年5月、舞鶴市において崔栄漢・大連市長(当時)を迎え、友好都市提携が実現しました。以来今日まで、両市の間では各種訪問団の相互派遣、少年使節団の交換、友好の船の派遣など活発な交流が展開され、2017年には、友好都市提携35周年を迎えました。



白玉山からの旅順港の眺め



中山広場



大連の海鮮料理





## 姉妹都市 ポーツマス市 (英国) Portsmouth

### 姉妹都市提携年月日

1998年5月15日・27日

### ポーツマス市の概要

ポーツマス市は英国南部のイギリス海峡に面した港湾観光都市です。人口約20万7千人(2016年現在)、面積約40Km<sup>2</sup>。ロンドンの南西部110kmに位置し、1927年に市制を施行しましたが、ポーツマス市の起源は1194年にリチャード1世の憲章にはじまり、800年余の古い歴史を持ちます。日本との時差は-9時間。



ポーツマス・ギルドホール

**産業：**英国海軍の主要基地として発展してきた町で、現在、海軍基地はポーツマス・ヒストリック・ドックヤードと呼ばれる観光施設として利用され、当時の軍艦等が保存されています。多くの博物館や観光施設を有する、英国のみならずヨーロッパでも有数のリゾート地として知られています。近年では、港湾地区の再開発が進められており、複合レジャー施設「ガンワフ・キー」が注目を集めています。

**気候：**北部を丘陵地帯に守られ、イギリス海峡の湾流の影響もあり、温暖な気候に恵まれています。平均気温は夏で18～25℃、冬で5～12℃ほどです。

**その他の姉妹都市：**カーン市(フランス)、デュースブルク市(ドイツ)、ハイファ市(イスラエル)、レイクウッド市、ポーツマス2市(アメリカ・ニューハンプシャー州、バージニア州)、シドニー市(オーストラリア)、ジャライド旗・珠海市(中国)

### ポーツマス市との交流

舞鶴市とポーツマス市は、1993年赤れんが博物館の開館時にポーツマス市かられんがが贈られたことをきっかけに交流が始まりました。その後、小中学校の手紙の交換やボーイスカウトの交流など市民レベルでの交流が進み、1998年5月に舞鶴市・ポーツマス市の市長が両市を相互訪問し、姉妹都市提携が実現しました。2018年には、姉妹都市提携20周年を迎えます。



スピネイカータワー



ビクトリー号



ガンワフ キーズ



## その他の交流がある国・都市



**浦項市** (大韓民国)  
Pohang



### 浦項市の概要

浦項市は、韓国・慶尚北道の東海岸に位置する、人口約52万人(2015年12月現在)、市の面積約1,129Km<sup>2</sup>の国際港湾都市



韓国で最初に日が昇る地として有名な「ホミゴッ」

です。古くから水産業で栄えたまちでしたが、1970年代初頭に「浦項製鉄所(POSCO)」が誕生して以来、韓国有数の工業都市として発展してきました。浦項港では、鉄鋼関係の輸出入が大半を占めます。2014年にKTX(韓国版新幹線)が開通し、首都ソウルから約2時間半でアクセスできるようになりました。



### 浦項市との交流

京都舞鶴港は2011年11月に、国から3つの機能(国際海上コンテナ、国際フェリー・RORO船、外航クルーズ)で「日本海側拠点港」の選定を受けました。この3つの機能の内、「国際フェリー・RORO船」については、2025年までに韓国との国際フェリー航路開設を目指す計画であることから、2012年に浦項市と「経済交流などの推進に関する協定書」を締結し、現在、舞鶴市では浦項市と中学生の相互訪問などの交流を進めています。



**ウズベキスタン共和国**  
(首都：タシケント市)  
Republic of Uzbekistan



### ウズベキスタン共和国の概要

ウズベキスタンは日本からおよそ6,400km離れた中央アジアに位置しており、面積は日本のおよそ1.2倍、人口は約



第二次世界大戦後ソ連で抑留された日本人が建設した「ナヴォイ劇場」

3,000万人、1991年にソビエト連邦崩壊に伴い独立した国で、世界に2つしかない「二重内陸国」で、海へと出るためには国を2つ越える必要があります。



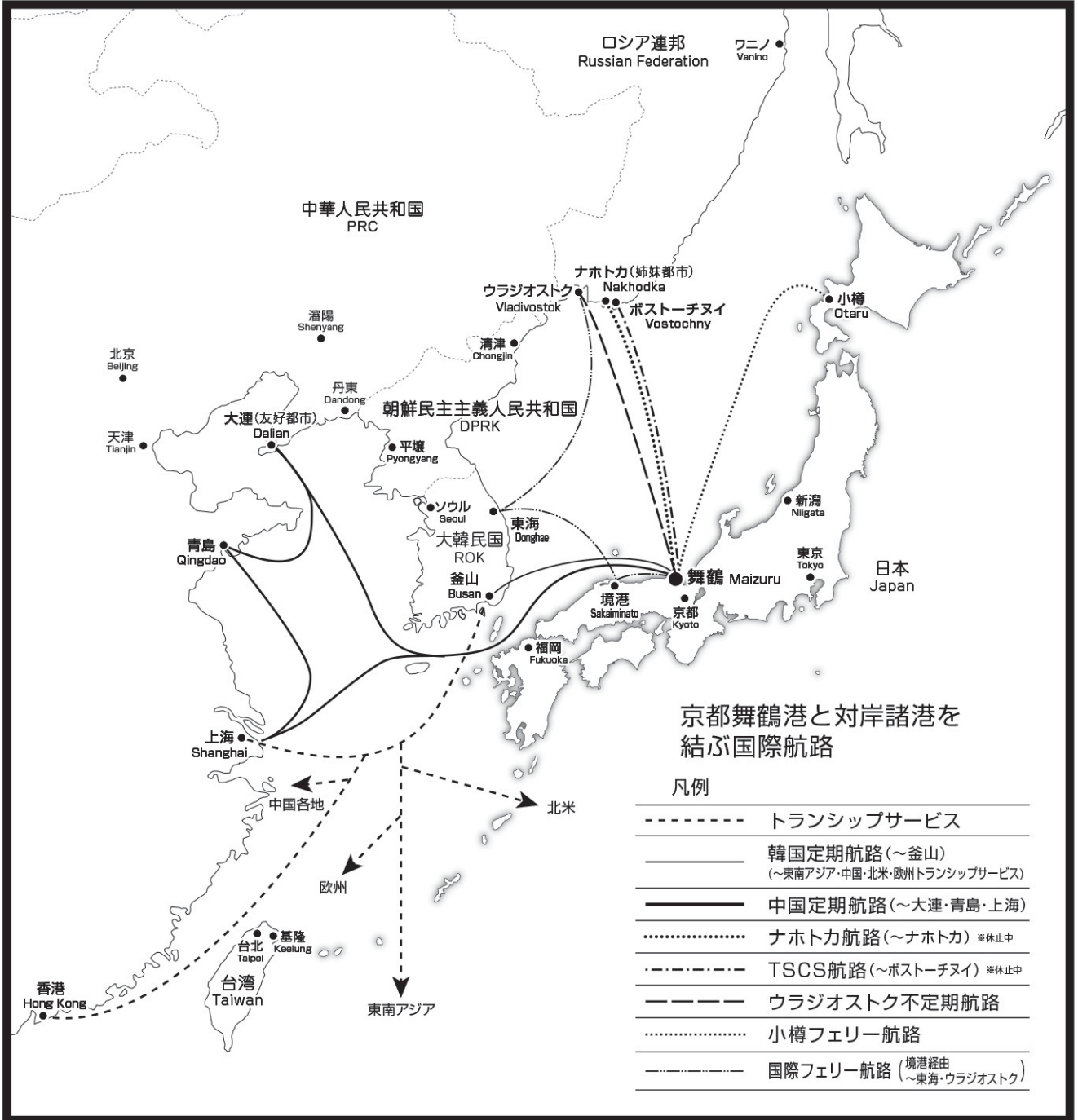
### ウズベキスタン共和国との交流

2016年1月、首都タシケント市内の日本人抑留者資料館のジャリル・スルタノフ館長が舞鶴市を訪問したことがきっかけでウズベキスタンとの交流が始まりました。現在舞鶴市は、2020年東京五輪におけるウズベキスタンのホストタウンに登録され、同国レスリング協会、柔道連盟、オリンピック委員会、体育スポーツ省との事前合宿に係る覚書が交わされました。東京五輪選手団の直前合宿誘致を契機にウズベキスタンと文化・スポーツ・経済など様々な面で交流を進め、大会終了後も「オリンピックレガシー」として残るつながりを作りたいと考えています。





# 京都舞鶴港と対岸諸国を結ぶ国際航路図



# 姉妹都市・ナホトカ市との交流

5月11日(木)～12日(金)

## 第54回 舞鶴・ナホトカ陸上競技通信 競技会が開催

1964年から続いている「舞鶴・ナホトカ陸上競技通信競技会」が開催。この大会は、舞鶴市とナホトカ市の陸上競技において、毎年、各種目の記録を交換しているもので、今年度の交換記録は、男子11種目、女子10種目でした。舞鶴市は、男子では800m、三段跳びなど4種目、女子では3000m、走り幅跳びなど4種目で優秀な成績を収め、一方、ナホトカ市は、男子では100m、やり投げなど7種目、女子では100m、1500mなど7種目で優秀な成績を収めました。

8月9日(水)～16日(水)

## ナホトカ市青少年ソフトボール訪問団が来訪

舞鶴市・ナホトカ市姉妹都市交流事業の一環として、ナホトカ市の青少年で構成されるソフトボール訪問団26名が来訪。市内での日本の文化体験や市民との交流活動に参加したほか、市内中高生と合同練習や親善試合等を実施し、本市におけるスポーツ振興を図るとともに、ソフトボール競技を通じて青少年交流の拡大と国際理解の促進を図りました。

### 《来訪者(26名)》

団長 / 主任コーチ	ベリャーエフ	ウラジーミル
ヘッドコーチ	ベリャーエフ	ナタリア
チームドクター兼選手	フローロワ	アンナ
コーチ兼選手	コワリョーフ	ナジェージュダ
ロシア国家選抜選手	ベリャーエフ	エリザベータ
ロシア国家選抜選手	チェルパノフ	エカテリーナ
選手	ボガチェフスカヤ	アリーナ
選手	フローロワ	ミラーナ
選手	クラギナ	エカテリーナ
選手	ペトロフスカヤ	ポリーナ
選手	ツラーノフ	エカテリーナ
選手	ガボネンコ	タチアナ
選手	ガブリレンコ	エカテリーナ
選手	ポプロツカヤ	マルガリータ
選手	ツラーノフ	アンナ
選手	ベリャーエフ	アナスタシア
選手	コスチューク	アンゲリーナ
選手	パールシナ	ポリーナ
選手	ポレシチュク	イリーナ
選手	パーカレワ	ソフィア
選手	サーヴィナ	アナスタシア
選手	ガルディナ	アリョーナ
選手	シャリポワ	アリーナ
選手	シェベンコワ	ソフィア

日露青年交流センター 浅野 凶夢

通 訳 ミグダリスキー ヴォロディーミル

### 《日 程》

- 8月9日(水) 舞鶴着
- 8月10日(木) 舞鶴市表敬訪問、合同練習兼親善試合、  
歓迎市民交流会
- 8月11日(金) 合同練習兼親善試合、陶芸体験
- 8月12日(土) 合同練習兼親善試合、かまぼこ作り体験、  
ホームステイ
- 8月13日(日) ホームステイ
- 8月14日(月) 京都観光、大阪観光  
～16日(水) 帰国



▲市内中高生との親善試合



▲歓迎市民交流会で日本の遊びを体験

8月22日(火)～24日(木)

## 第26回日ロ沿岸市長会議・日ロ沿岸 ビジネスフォーラムへ参加

新潟市で開催された「第26回日ロ沿岸市長会議・日ロ沿岸ビジネスフォーラム」に舞鶴市から多々見市長ほか2名が参加。日本海沿岸とロシア極東・シベリア地域の各都市の市長が参加し、「日本海沿岸地域とロシア極東シベリア地域とのビジネスチャンス拡大について」及び「両地域諸都市における双方向(インバウンド・アウトバウンド)の観光交流促進に向けた方策について」というテーマで各市から発表がなされました。

会期中には、ナホトカ市長ゴレーロフ氏と会談し、両市のつながりを今後も維持・継続して発展させていくことを確認しました。

### 《訪問者(3名)》

舞鶴市長 多々見良三  
舞鶴市みなと振興・国際交流課長 小森 実  
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長 竹原 良治

### 《日 程》

- 8月22日(火) 新潟着
- 8月23日(水) 日ロ沿岸市長会議・日ロ沿岸ビジネスフォーラム1日目出席、ナホトカ市長と会談
- 8月24日(木) 日ロ沿岸市長会議・日ロ沿岸ビジネスフォーラム2日目出席、新潟発



## 友好都市・大連市との交流

2月12日(日)～14日(火)

### 舞鶴市世界記憶遺産保存活用推進委員会調査訪問団が大連市を訪問

2015年10月にシベリア抑留・引揚関連資料「舞鶴への生還」がユネスコ世界記憶遺産に登録されたのを契機とし、国際的な文化交流や発信を推進するため、舞鶴市世界記憶遺産保存活用推進委員会調査訪問団が大連を訪問し、シベリア抑留・引き揚げ関連資料に関する調査を行うとともに、今後の交流の可能性について協議しました。

#### 《訪問者(5名)》

舞鶴市世界記憶遺産保存活用推進委員会会長	黒沢 文貴
舞鶴市世界記憶遺産保存活用推進委員会副会長	栗原 祐司
舞鶴引揚記念館主幹	浜田 真義
舞鶴引揚記念館学芸員	長嶺 睦
舞鶴市国際交流員	孫 亜南

#### 《日程》

2月12日(日) 大連着、大連現代博物館視察  
 2月13日(月) 大連市内視察・調査  
 2月14日(火) 大連市内視察・調査、大連発

2月22日(水)～25日(土)

### 京都舞鶴港セミナーin大連を開催

京都舞鶴港における中国との定期航路の更なる発展に向け、舞鶴市の友好都市であり直接航路で結ばれている大連市において、京都銀行と連携し、約6年ぶりに「京都舞鶴港セミナーin大連」を開催しました。約250名の物流業者、メーカー、貿易商社等の日中企業関係者が出席し、京都舞鶴港を活用した新たなビジネスチャンスの可能性や京都府及び舞鶴市の経済・産業等について紹介するなど京都舞鶴港の優位性を広くPRしました。

#### 《訪問者(9名)》

舞鶴市長 兼(一社)京都舞鶴港振興会理事長	多々見良三
京都府京都舞鶴港振興監 兼	
(一社)京都舞鶴港振興会副理事長	酒井 敦史
舞鶴市産業振興部みなと振興・国際交流課長	小森 実
舞鶴市産業振興部みなと振興・国際交流課国際交流係長	竹原 良治
舞鶴市企画管理部企画室秘書課主査	中山 隆司
舞鶴市国際交流員	孫 亜南
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	澤田 信幸
(一社)京都舞鶴港振興会理事	飯田 徹
(一社)京都舞鶴港振興会振興部主任	板橋 祐介

#### 《日程》

2月22日(水) 大連着、中国国貿促大連市分会訪問、盧林・大連市人民政府副市長との会見、大連市人民政府主催歓迎宴  
 2月23日(木) 京都舞鶴港セミナーin大連開催

2月24日(金) 課長以下4名 日系企業訪問、大連発  
 市長以下3名 大連発、上海着、クルーズ船社訪問

2月25日(土) 上海発



▲会場の様子



▲多々見市長が自ら京都舞鶴港をPR

3月30日(木)

### 2016年度舞鶴市国際交流員(CIR)孫亜南さんが離任

2016年4月から、舞鶴市国際交流員として大連市との友好交流や京都舞鶴港振興事業、舞鶴市民との交流事業等を担当してきた孫亜南(そん あなん)国際交流員が、1年間の勤務を終え離任。辞令交付および市長への離任挨拶を行いました。



▲市長と握手する孫亜南さん

## 4月7日(金)～8日(土) 大連市外事弁公室訪問団が来訪

大連市外事弁公室主任(部長級、対外交流部門のトップ)に新しく就任した張曉鵬氏を団長とする大連市外事弁公室代表団一行6名が来訪。舞鶴市・大連市友好都市提携35周年記念事業に向けさらなる交流促進に向けた協議を行いました。

### 《来訪者(6名)》

大連市外事弁公室主任	張 曉 鵬
大連市外事弁公室アジア処処長	姜 春 梅
大連市外事弁公室アジア処職員	景 詩 博
越洋物語(大連)運営管理有限公司董事長	黄 剛
大連市華成境外就業服務有限公司總經理	邵 永 生
越洋通商株式会社總經理	田村 正樹

### 《日 程》

4月7日(金) 舞鶴着、市長表敬、歓迎夕食会  
4月8日(土) 市内視察、東京へ移動

## 4月14日(金) 2017年度舞鶴市国際交流員(CIR) 李芳さんが着任

舞鶴市民に対する中国文化の理解の促進、友好都市・大連市との文化、経済交流などの橋渡し役として、13代目(12人目)の大連市出身の国際交流員となる李芳(りほう)さんが着任。辞令交付および市長への着任挨拶を行いました。



▲市長から辞令交付を受けた李芳さん

## 5月22日(月)～5月24日(水) 舞鶴市代表団が「中日観光大連ハイ レベルフォーラム」へ参加

第28回大連アカシア祭りの一環として開催される「中日観光大連ハイレベルフォーラム」及び舞鶴市・大連市友好都市提携35周年記念事業に参加するため、舞鶴市代表団7名が大連市を訪問。

フォーラムでは、多々見市長が舞鶴市・京都舞鶴港のPRを行ったほか、大連市との観光・経済交流発展に向けた協議を実施しました。

また、肖盛峰大連市長と会見し、クルーズによる観光交流や青少年交流、文化交流など、友好都市提携35周年記念事業と今後のさらなる交流の促進を確認しました。同時に、多々見市長は、大連市から舞鶴市で3人目となる「大連市名誉市民」の称号を授与されました。

### 《訪問者(8名)》

舞鶴市長	多々見良三
舞鶴市議会議長	上野 修身
舞鶴商工会議所専務理事	瀬川 甫
舞鶴市みなと振興・国際交流課長	小森 実
舞鶴市みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長	小島 宏
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長	竹原 良治
舞鶴市秘書課主査	中山 隆司
舞鶴市国際交流員	李 芳

### 《日 程》

5月22日(月) 大連着、「中日観光大連ハイレベルフォーラム」参加、クルーズ協力懇談会参加  
5月23日(火) 市内視察、大連市長との会見  
5月24日(水) 大窯湾視察、保稅区管理委員会表敬訪問、大連発



▲大連市長との会見の様子



7月2日(日)～5日(水)

## 舞鶴市議会「創政クラブ議員団」が大連市を訪問

舞鶴市との友好都市提携35周年を記念し、大連市に創政クラブ議員団一行8名が訪問。大連市人民代表大会を表敬訪問したほか、観光交流やビジネス交流など経済交流の一層結びつきを強固なものとするため、大連市の港湾施設等を視察しました。

7月20日(木)～9月10日(日)

## 舞鶴市・大連市友好都市提携35周年記念企画展「中国の磚—れんがが彩る世界—」を開催

舞鶴市・大連市友好都市提携35周年を記念し、7月20日(木)から9月10日(日)の間、舞鶴赤れんがパークで赤れんが博物館主催の企画展「中国の磚—れんがが彩る世界—」を開催しました。これまで大連市から寄贈いただいたれんが(磚)を中心に、中国のれんが(磚)をご紹介します。



▲企画展「中国の磚」の様子

8月2日(水)～6日(日)

## 舞鶴市少年使節団を大連市に派遣

大連市との青少年交流は、1992年に初めて大連市から少年使節団が来鶴し、以後、隔年で受入と派遣を交互に実施してきたが、2012年以降は休止状態が続いていました。昨年8月に約6年ぶりに大連市から少年使節団が来訪し青少年交流が再開し、折しも2017年度は、舞鶴市と大連市が友好都市提携を結んで35周年という記念すべき節目の年を迎えることから、両市の相互理解と国際的な視野を持った青少年の育成を図るため、今回、6年ぶり10回目となる舞鶴市少年使節団を大連市へ派遣しました。訪問団は、高新園区中心小学との学校交流及びホームステイを通じて、相互理解を深めました。

《訪問者(24名)》

中筋小学校校長  
明倫小学校教諭

森信 憲司  
森崎 真人

倉梯小学校教諭

中舞鶴小学校養護教諭

舞鶴市教育委員会学校教育課指導主事

舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長

新舞鶴小学校

三笠小学校

倉梯小学校

倉梯第二小学校

与保呂小学校

志楽小学校

朝来小学校

大浦小学校

中舞鶴小学校

明倫小学校

吉原小学校

余内小学校

池内小学校

中筋小学校

福井小学校

高野小学校

岡田小学校

由良川小学校

《日程》

8月2日(日) 舞鶴発、大連着、歓迎宴会

8月3日(月) 高新園区中心小学との学校交流、市内視察

8月4日(火) ホームステイ

8月5日(水) ホームステイ

8月6日(木) 大連発



▲高新園区中心小学との学校交流



▲交流を終え記念撮影

**8月9日(水)～10日(木)  
在瀋陽日本国総領事館在大連領事  
事務所長が来訪**

在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所の丸山浩一所長が、着任後初めて、大連市と友好都市提携35周年を迎えた舞鶴市を訪問。これまでの交流の歴史等を学ぶとともに、舞鶴市役所出身の大連領事事務所への勤務経験者との意見交換等を行いました。

《来訪者(1名)》

在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所長 丸山 浩一

《日 程》

8月9日(水) 舞鶴着

8月10日(木) 市長表敬、大連事務所勤務経験者と懇談、市内視察

**9月14日(木)～9月18日(月)  
2017大連日本商品展覧会に出展**

京都舞鶴港における中国定期航路の活性化、京都舞鶴港の知名度の向上及び京都舞鶴港利用企業等の輸出拡大支援を目的として、京都舞鶴港関係者が大連日本商品展覧会に出展。京都舞鶴港や関係企業の輸出希望製品をPRしました。

《訪問者(4名)》

(一社) 京都舞鶴港振興会常務理事	新宮 敦雄
(一社) 京都舞鶴港振興会理事	飯田 徹
(一社) 京都舞鶴港振興会主任	板橋 祐介
舞鶴市国際交流員	李 芳

《日 程》

9月14日(木) 大連着、展示ブース設営、出展企業交流会

9月15日(金) ブース対応

～17日(日)

9月18日(月) 船社訪問、大連領事事務所訪問、大連発



▲中国国際貿易促進委員会大連市分会と意見交換

**10月12日(木)～13日(金)  
大連市档案局代表団が来訪**

2017年2月、舞鶴引揚記念館職員等で構成する引揚調査団が、大連市を訪れ、大連市における引き揚げに関する施設や公文書等の調査を実施したことを受け、大連市档案局副局长をはじめとする代表団6名が来鶴し、引揚記念館等を訪れ、調査研究及び意見交換を行いました。

《来訪者(6名)》

大連市档案局副局长	蒋 耀 輝
大連市房地產档案館館長	張 大 国
大連市外事弁公室調研員	李 述 喆
大連市档案局征集処副処長	唐 勇
大連市档案局征集処主任科員	楊 晨 岑
大連市档案局征集処主任科員	司 微

《日 程》

10月12日(木) 舞鶴着、引揚記念館視察、歓迎夕食会

10月13日(金) 市長表敬、市内視察、京都大学図書館、東京へ移動

**10月26日(木)～29日(日)  
舞鶴市・大連市友好都市35周年記念  
大連市代表団が来訪**

舞鶴市・大連市友好都市35周年記念事業の一環として、大連市人民代表大会常務委員会の曲曉飛副主任(副市长級)を団長とする大連市政府代表団7名ならびに大連現代博物館代表団5名、大連市文広局代表団11名が来訪し、記念式典等へ参加しました。

《来訪者(23名)》

大連市政府代表団

大連市人大常委会副主任	曲 曉 飛
大連市人大民僑外委主任委員	由 孚 勝
大連市外事弁公室副主任	劉 舫
大連市旅游發展委員会副主任	曾 武 靈
大連市人大常委会弁公庁処長	叶 永 林
大連市外事弁公室正処級調研員	陳 美 剛
大連東銳軟件有限公司董事長	王 春 成

大連現代博物館代表団

大連現代博物館館長	姜 曄
大連現代博物館陳列研究部職員	張 鵬 飛
大連現代博物館陳列研究部職員	趙 琦
大連現代博物館陳列研究部主任助理	王 松 濤
大連市外事弁公室主任科員	景 詩 博

大連市文広局代表団

大連市文広局副処長	苗 玉 君
大連京劇院院長 一級演技者	楊 赤
大連京劇院一級監督	李 維
大連京劇院演技者	楊 鵬 程
大連京劇院演技者	謝 冲
大連京劇院舞台美術担当者	黄 小 輝



大連京劇院舞台美術担当者  
 大連京劇院演奏者  
 大連歌舞団演奏者  
 大連市群衆芸術館補導培訓部副主任  
 大連雜技団演技者  
 演技者

王麗娜  
 林曉彦  
 金玲玲  
 孫英赫  
 喬琳琳  
 段品章

《日程》

10月26日(木) 文広局・博物館 舞鶴着  
 10月27日(金) 市政府代表団 金沢発、舞鶴着、記念式典参加  
 10月28日(土) 「大連現代博物館所蔵刺繍展」開幕式出席  
 市政府代表団 京都へ移動  
 博物館 東京へ移動  
 文広局 舞鶴教育文化財団と会談等  
 10月29日(日) 文広局 舞鶴発



▲記念式典で京劇を披露



▲曲副主任による式典あいさつ

10月28日(土)～11月5日(日)  
 舞鶴市大連市友好提携35周年を記念事業  
 大連現代博物館所蔵刺繍展「綉色」を開催

舞鶴市・大連市友好都市提携35周年記念事業の一環として、大連現代博物館に所蔵されている「刺繍コレクション」を日本で初めて開催。多くの舞鶴市民に中国伝統工芸の素晴らしさを肌で感じていただくとともに、舞鶴市の文化力向上並びに大連市との文化交流・友好交流をさらに深めました。市政記念館で10月28日(土)から11月5日(日)の9日間展示し、2000人以上の来場者がありました。また、10月28日(土)に刺繍展開催記念として、大連現代博物館職員による刺繍体験教室を開催し、16名の市民が参加しました。



▲刺繍展を鑑賞する多々見市長



▲大連現代博物館所蔵刺繍展「綉色」の様子



▲刺繍体験教室参加者との記念撮影

## 姉妹都市・ポーツマス市との交流

### 3月18日(土)～3月27日(月) 2016年度ポーツマス市訪問青少年 英語研修を実施

市内在住の中学生と高校生の10名が、ポーツマス市でホームステイをしながら英語を学ぶ研修に参加。参加者は語学学校での英語研修のほか、ポーツマス市名誉市長への表敬訪問や現地学校の生徒と交流し、若い世代における姉妹都市間の友好交流を深めました。

#### 《訪問者(10名)》

(名簿順)

青葉中学校3年  
白糸中学校3年  
白糸中学校3年  
京都共栄学園中学校3年  
城南中学校3年  
西舞鶴高校1年  
福知山高校1年  
日星高校1年  
西舞鶴高校2年  
西舞鶴高校2年

小畑 拓実  
遊里道 大智  
テヘラニ ダニエル  
岸田 理子  
丸岡 由季  
高井 将大  
小西 貴大  
榊原 楓花  
倉内 絵夢  
古川 知香

#### 《日 程》

3月18日(土) 舞鶴発、ポーツマス着

3月19日(日) 午前 ホストファミリーとの対面、ホームステイ  
3月20日(月) Portsmouth Language Collageでの～24日(金) 英語研修、ホームステイ  
3月20日(月) ポーツマス市名誉市長への表敬訪問  
3月21日(火) メイフィールド校との学校交流  
3月22日(水) メイフィールド校とのボーリング大会  
3月25日(土) ロンドンへ移動、市内見学  
3月26日(日) ロンドン市内見学、ロンドン発  
3月27日(月) 舞鶴着

### 5月16日(火) ポーツマス市議会において 新議長・新名誉市長を選出

ポーツマス市議会年次定例会において、新閣僚の選挙が行われ、保守党党首であるドナ ジョーンズ議員が市議会議長として再選されました。また、同日、名誉市長選出式典が開催され、新名誉市長にケン エルカム議員および新副市長にリー メイソン議員が選出されました。※ポーツマス市名誉市長は、市議會議員から互選で選出されます。任期は1年。



▲メイフィールド校の生徒とのボーリング大会の様子



## その他の姉妹・友好都市交流・その他の都市との友好交流

### 1月18日(水)～19日(木) 海外自治体幹部交流協力セミナー2016 として韓国自治体幹部が舞鶴市を訪問

一般財団法人自治体国際化協会が主催する「海外自治体幹部交流協力セミナー2016」の実施にあたり、韓国の自治体幹部による視察受け入れ先として京都府が選定され、舞鶴市に1月18日(水)、19日(木)の日程で来訪されました。

#### 《来訪者(10名)》

晋州市(慶尚北道)福祉教育局 女性保育課課長	ペギチョル
全羅南道社会福祉課出産政策チーム チーム長	キム ハクソン
瑞山市(忠清南道)保健所出産奨励チーム チーム長	イ ユンヨル
仁川広域市保育政策課地方看護主事	チョ イニヤン
江原道国際交流課主務官	イ スンウン
(一財)自治体国際化協会交流親善課調査役	齋藤 純
(一財)自治体国際化協会交流親善課主事	池之上祐太
(一財)自治体国際化協会交際交流課主事	宇都宮生雄
京都府海外経済課副主査	川上 聡一
京都府国際課主事	山口 紳

#### 《日 程》

1月18日(水) 舞鶴着、市内視察、副市長表敬訪問  
1月19日(木) 舞鶴学園視察



▲表敬訪問時の様子

### 2月4日(土)～5日(日) 舞鶴市立幼稚園、小中学校教育美術展覧会に 舞鶴市姉妹都市・友好都市の児童絵画を展示

舞鶴市教育委員会が舞鶴市総合文化会館において第19回教育美術展覧会を開催しました。また、京都府学校文化・芸術祭 第48回教育美術展覧会中部展と同時開催となりました。

展覧会には、市内の市立幼稚園、小中学校の作品のほ

か、姉妹・友好都市であるロシア・ナホトカ市、中国・大連市、英国・ポーツマス市の作品53点を展示されました。



▲ナホトカ市、大連市、ポーツマス市の作品展示の様子

### 2月26日(日)～27日(月) 浦項市訪問団が来訪

京都舞鶴港と韓国・浦項市の浦項迎日湾港との国際フェリー航路の開設に向け、浦項市訪問団が訪れ、クルーズ等に関する実務協議を行いました。

#### 《来訪者(4名)》

浦項市港湾物流課長	チェ ギュジン
浦項市港湾物流課 港湾政策チーム長	クオン テジュン
浦項市港湾物流課 港湾政策チーム	キム ハンミン
浦項市国際協力観光課 国際協力チーム	パク ユズン

#### 《日 程》

2月26日(日) 舞鶴着、市内視察  
2月27日(月) 市長表敬、実務協議

### 3月1日(水)～10日(金) 舞鶴市役所市民ホールで 姉妹都市・友好都市との交流展を開催

2016年にナホトカ市と姉妹都市提携55周年を、2017年に大連市と友好都市提携35周年を迎え、また2018年にポーツマス市と姉妹都市提携20周年を迎えるにあたり、市民に姉妹・友好都市を身近に感じてもらう、さらに交流を促進するため、舞鶴市役所市民ホールで3月1日(水)から10日(金)まで、姉妹・友好都市の概要、交流の紹介並びに各都市の子どもの絵画を展示しました。

6月2日(金)

## ドイツ・ロストック市訪問団が来訪

昨年10月にNPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴のメンバーがドイツ北部に位置するロストック市を訪問した際、多々見市長の親書を携えて同市を訪問したことに対する返礼のため、ロストック市の独日協会メンバーがロストック市長から親書を預かったとして舞鶴市を表敬訪問されました。

### 《来訪者(6名)》

ロストック独日協会会長	ヨハネス クンツェ
ロストック独日協会事務局長	ジャンネット クンツェ
特定法人 京都藝際交流協会	石田 淨
NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴	馬場 英男 ほか、2名

7月27日(木)～8月1日(火)

## 京都舞鶴港訪問団を浦項市へ派遣

京都舞鶴港と韓国との国際コンテナ航路の集荷のため、京都舞鶴港関係者で構成する訪問団が韓国を訪問し、浦項市長の表敬訪問を行うとともに、今後の連携内容について協議を行いました。

あわせて、「京都舞鶴港セミナー in 釜山」にかかる打ち合わせ及び参加依頼のため、関連企業を訪問しました。また、コンテナ貨物集荷に向けた協議を行うため、ソウルの船社を訪問しました。

### 《来訪者(5名)》

舞鶴市長	多々見良三
京都府経済交流課副主査	川上 聡一 (27日、28日のみ)
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	澤田 信幸
(一社)京都舞鶴港振興会常務理事	新宮 敦雄
(一社)京都舞鶴港振興会主任	栢分 駿

### 《日 程》

7月27日(木) 釜山着  
7月28日(金) 釜山セミナー会場視察  
7月29日(土) 浦項市へ移動、歓迎夕食会、浦項市花火大会出席  
7月30日(日) 浦項市長表敬訪問  
7月31日(月) ソウルに移動、クリアソウル、JETRO、船社訪問  
8月1日(火) 船社訪問、JNTO訪問、ソウル発

8月3日(木)

## ウズベキスタンの国際交流員(CIR) レ アルトゥルさんが着任

2020年東京五輪におけるホストタウンの相手国であるウズベキスタン共和国との交流の橋渡し役として、ウズベキスタン出身の国際交流員レ アルトゥルさんが着任。辞令交付および市長への着任挨拶を行いました。



▲市長から辞令交付を受けたレ アルトゥルさん

8月5日(土)～8日(火)

## ウズベキスタン事前合宿視察訪問団が来訪

2020年東京五輪のウズベキスタンのホストタウンとして、レスリング競技と柔道競技の事前合宿が内定していることから、ウズベキスタン共和国政府及び両競技団体の関係者が訪れ、事前合宿関係施設等の視察をされたほか、両競技団体と事前合宿にかかる覚書を締結しました。

### 《来訪者(5名)》

ウズベキスタン共和国体育文化スポーツ大臣	ルスタムベク クルバノフ
ウズベキスタン共和国国家オリンピック委員会事務総長	オイベク カシモフ
ウズベキスタンレスリング協会事務総長	シュハラット ママダリエフ
ウズベキスタン柔道連盟副会長	シャブカト ムミノフ
駐日ウズベキスタン共和国大使館二等書記官	アスカラリ ハサノフ

### 《日 程》

8月5日(土) 舞鶴へ移動  
8月6日(日) 市内柔道関係者・レスリング関係者等との交流  
8月7日(月) 引揚記念館の視察、地域住民との交流、市長表敬、ウズベキスタンレスリング協会及びウズベキスタン柔道連盟と覚書の締結  
8月8日(火) 東京へ移動



▲体育館など事前合宿関係施設を視察



## 8月19日(土)～22日(火)

### 舞鶴市青少年交流訪問団を浦項市に派遣

2012年8月に、京都府北部5市2町と浦項市が発表した「日韓地域間交流推進のための宣言」における人的交流の取り組みの一環として、舞鶴市中学生14名及び教員等からなる舞鶴市青少年交流訪問団を韓国・浦項市に派遣。浦項製鉄中学校での学校交流をはじめ、浦項市民宅でのホームステイ、さらには、浦項伝統文化体験館においてコチュジャン作り体験やテグギョン体験など韓国文化を学び、互いの理解と友情を深めました。

#### 《訪問先》

韓国・浦項市、釜山広域市

#### 《訪問団(19名)》

城北中学校校長

青葉中学校教務主任

城南中学校養護教諭

舞鶴市教育委員会学校教育課指導主事

舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流課主事

青葉中学校

青葉中学校

白糸中学校

白糸中学校

和田中学校

和田中学校

城南中学校

城南中学校

城北中学校

城北中学校

若浦中学校

若浦中学校

加佐中学校

加佐中学校

#### 《日程》

8月19日(土) 釜山着、慶州国立博物館見学、浦項伝統文化体験館泊

8月20日(日) 韓国文化体験(コチュジャン作り体験、テグギョン体験)、ホームステイ

8月21日(月) ホームステイ、浦項製鉄中学校との学校交流、浦項市内視察(浦項運河クルーズ等)

8月22日(火) 釜山市内視察(釜山タワー、釜山映画体験館見学)釜山発

奥水 孝志

小林 由美

小嶋 孝子

山下 博伸

久保 将太

藤原 駆

羽賀田結衣

山内 敬二

道海 美羽

長崎 恵也

児島 瑞唯

新屋 利樹

水嶋 花

漁野 斗和

植田 藍海

西野 颯真

藤原 暖

飯田 敦

大田 詩織



▲浦項製鉄中学校での学校交流の様子

## 8月27日(日)～28日(月)

### ウズベキスタン大使館書記官が来訪

日星高校の取材及び南公民館地域の食を通じた文化交流支援のため、駐日ウズベキスタン共和国大使館のハサノフ二等書記官が舞鶴市を訪問されました。南公民館の地域住民に対するウズベク料理教室の開催や日星高校で大使館広報ビデオの取材、市内事業者向けのプロフ料理教室を開催しました。

#### 《来訪者(2名)》

駐日ウズベキスタン共和国大使館 二等書記官

アスカラリ ハサノフ ほか、1名

#### 《日程》

8月27日(日) 舞鶴着、南公民館地域住民に対しウズベク料理教室を開催

8月28日(月) 日星高校で大使館広報ビデオ取材、市内事業者向けプロフづくり教室開催

## 9月15日(金)

### JICA関西所長とJICAウズベキスタン人留学生が舞鶴市長を表敬訪問

ウズベキスタンとの間の国際協力・国際交流に関する舞鶴市との連携の機運を高めることを目的に、独立行政法人国際協力機構 関西国際センター(JICA関西)の西野恭子所長が、JICA長期研修員として来日中のウズベキスタン人留学生2名とともに多々見市長を表敬されました。

#### 《来訪者(7名)》

JICA関西 所長

西野 恭子

JICA関西 市民参加協力課 主任調査役

白井 宏明

JICA関西 市民参加協力課 国際協力推進員

根木 尚子

JICA関西 市民参加協力課 立命館大学インターン生

服部 孝政

立命館大学留学生

ピルマトフ ファルホッド

立命館大学留学生

クルバンバエフ ノディア

ほか、通訳1名

#### 《日程》

9月15日(金) 舞鶴着、市長表敬、日星高校との交流



▲ホストファミリーと記念撮影



**10月21日(土)～11月8日(水)**  
**東京五輪レスリング・柔道事前合宿内定記念**  
**「ウズベキスタン展inホストタウン舞鶴」を開催**

東京五輪において、本市がホストタウンになっているウズベキスタン共和国に対する、市民への認知度を高め、オリンピック本番へ向けて歓迎ムードを盛り上げていくとともに、両国の友好を深めるため、10月21日(土)から11月8日(水)に、赤れんがパークで「ウズベキスタン展inホストタウン舞鶴」を開催しました。ウズベキスタン民芸品や衣装の展示(日本ウズベキスタン協会、駐日ウズベキスタン大使館協力)、ウズベキスタン写真展「ウズベキスタンの建築美～4都市の世界遺産～」(写真家・秋野深氏)、ウズベキスタン、ホストタウンの紹介(駐日ウズベキスタン大使館、JICA協力)、ホストタウンとしての取り組み紹介(日星高等学校)、ハラール食品の紹介(ケンコーマヨネーズ株式会社協力)を行いました。



▲ウズベキスタン展の様子

**11月7日(火)～11日(土)**  
**舞鶴市訪問団・引揚調査団を**  
**ウズベキスタン共和国へ派遣**

〈舞鶴市訪問団〉

多々見市長を団長、山口副市長を副団長とする舞鶴市訪問団一行6名をウズベキスタンに派遣し、レスリング及び柔道の関係施設の訪問をはじめ、政府機関との事前合宿にかかる覚書の締結並びに今後の交流について実務協議を実施し、事前合宿の実施決定及び友好関係の確立を図りました。

〈引揚調査団〉

舞鶴市とウズベキスタン共和国の間では、第二次世界大戦後、ウズベキスタンに抑留された日本人抑留者の多くを舞鶴港から引き揚げた歴史的な繋がりががあるため、引揚調査団一行5名をウズベキスタンに派遣し、舞鶴引揚記念館の展示の充実と学術的・客観的な調査を通じて過去の歴史の検証を行いました。

《訪問者(11名)》

舞鶴市訪問団

舞鶴市長	多々見良三
舞鶴市副市長	山口 寛士
舞鶴市スポーツ振興課長	小谷 裕司
舞鶴市スポーツ振興課主査	村松 俊継

舞鶴市みなと振興・国際交流課主事	東 康太
舞鶴市国際交流員	レ アルトゥル

引揚調査団

東京女子大学教授	黒沢 文貴
京都国立博物館副館長	栗原 祐司
(一社)京都舞鶴港振興会常務理事	新宮 敦雄
舞鶴引揚記念館館長	山下 美晴
舞鶴引揚記念館学芸員	長嶺 睦

《日程》

- 11月7日(火) タシケント着
- 11月8日(水) ナヴォイ劇場、日本人墓地、抑留者資料館、アルマザール高校(日本語科)、教育省、柔道場・合宿施設の見学、オリンピック委員会及び体育スポーツ省と覚書の締結
- 11月9日(木) 舞鶴市訪問団 サマルカンドへ移動、サマルカンド市長表敬訪問、市内スポーツ施設、市内歴史遺構の視察  
引揚調査団 アングレンへ移動、アングレン市長表敬訪問、アングレン市内視察、ウズベキスタン歴史アカデミー(歴史研究所)で公文書調査
- 11月10日(金) 舞鶴市訪問団 タシケント市ヤッカサライ区長表敬訪問、国家投資委員会、民族・国際交流員会訪問、JICAウズベキスタン事務所、UJC、日本大使館訪問、タシケント発  
引揚調査団 ウズベキスタン国立中央公文書館、日本人抑留者が建てたタシケント市内の建物調査、タシケント発
- 11月11日(土) 舞鶴着



▲オリンピック委員会及び体育スポーツ省と事前合宿実施にかかる覚書を締結



▲ウズベキスタン歴史アカデミーにて公文書調査



# 京都舞鶴港関係の貿易・経済交流

## 2月16日(木)～17日(金) 京都舞鶴港関係者がソウルを訪問

日韓コンテナ航路の拡充に向け、現在京都舞鶴港に寄港している船社等と協議を行い、現航路のサービス改善や新規貨物にかかる協議を行うため、京都舞鶴港関係者で構成する訪問団がソウルを訪問しました。

### 《訪問者(3名)》

京都府海外経済課副主査	川上 聡一
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	澤田 信幸
舞鶴市産業創造室長	新宮 敦雄

### 《日 程》

2月16日(木) ソウル着、船社訪問  
2月17日(金) 船社訪問、ソウル発

## 5月30日(火)～6月2日(金) 京都舞鶴港関係者がソウルを訪問

日韓露国際フェリー航路の直行航路の早期開設に向け、DBSクルーズフェリー社に対し、協力を要請するとともに、新規貨物獲得に向け、京都舞鶴港関係者で構成する訪問団が韓国の物流企業等を訪問。あわせて、日韓コンテナ航路の今後のさらなる発展に向け、船社と協議を行うほか、貨物量の拡大に向け、韓国企業を訪問しました。

### 《訪問者(3名)》

京都府港湾局長	酒井 敦史
京都府商工労働観光部経済交流課副主査	川上 聡一
(一社)京都舞鶴港振興会参与	新宮 敦雄

### 《日 程》

5月30日(火) ソウル着、船社訪問、企業訪問  
5月31日(水) 企業訪問  
6月1日(木) 企業訪問、船社訪問  
6月2日(金) 企業訪問、ソウル発

## 7月19日(水)～20日(木) 東海市訪問団が来訪

京都舞鶴港とDBSクルーズフェリー社による「日韓露国際フェリー航路」により結ばれている「韓国・東海市」の市長一行が、2017年9月に東海市で開催される「2017 GTI国際貿易・投資博覧会」のPRのため、本市を訪問されました。

### 《来訪者(6名)》

東海市長	シム ギュオン
東海市GTI博覧会担当	イム ソンビン

東海市随行秘書	ソン ジェムン
東海市議会議員	イム ミョンヒ
東海商工会議所事務局長	キム イルレ
DBSクルーズフェリー日本支社次長	リュ ウス

### 《日 程》

7月19日(水) 舞鶴着、夕食晩餐会  
7月20日(木) 舞鶴商工会議所訪問、GTI博覧会説明会、市内視察

## 7月18日(火)～7月22日(土) 京都舞鶴港口ロシア極東訪問団を派遣

京都舞鶴港とロシア極東地域を直接結ぶ日韓露国際フェリー航路の利用促進を図るとともに、ロシア極東地域の港湾からシベリア鉄道を経由してロシア及びCIS諸国への貿易拡大を図るため、京都舞鶴港関係者がロシア極東地域を訪問。ウラジオストクやナホトカの港湾関係者や現地企業を訪問しました。通関をはじめ、モスクワ等ロシア国内向けのブロックトレインの本数や行先等、具体的な実務や状況について調査を行いました。あわせて、日本センターや日ロ貿易を行っている商社等を訪問し、取引の状況について、情報収集を行いました。

### 《訪問者(1名)》

(一社)京都舞鶴港振興会常務理事 新宮 敦雄  
※日本通運(株)舞鶴海運支店 国際輸送課長 室田 和弘氏が同行

### 《日 程》

7月18日(火) ウラジオストク着  
7月19日(水) 企業訪問  
7月20日(木) 企業訪問、ナホトカへ移動  
7月21日(金) ナホトカ市と協議、ボストチヌイ港視察  
7月22日(土) ウラジオストク発



▲ブロックトレインの様子

## 8月30日(水)～9月1日(金) 京都舞鶴港セミナーin釜山を開催

日韓国際コンテナ航路の集荷のため、京都舞鶴港関係者で構成する訪問団が韓国を訪問。京都舞鶴港セミナーin釜山を開催しました。あわせて、釜山市の関係先を訪問し、コンテナ貨物集荷に向けた協議を行いました。

### 《訪問者(4名)》

京都府経済交流課副主査	川上 聡一
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	澤田 信幸
(一社)京都舞鶴港振興会常務理事	飯田 徹
(一社)京都舞鶴港振興会主任	栢分 駿

※飯野港運株式会社常務取締役 田端 昭則氏、日本通運株式会社舞鶴海運支店長 小東 雅幸氏、舞鶴倉庫株式会社取締役営業開発部長 久保 勝氏が同行

### 《日程》

8月30日(水) 釜山着  
8月31日(木) 京都舞鶴港セミナーin釜山開催、釜山港湾公社訪問、釜山市表敬訪問、船社訪問  
9月1日(金) 釜山発



▲山田啓二 京都府知事による主催者あいさつの様子

## 8月30日(水)～9月2日(土) ロシア極東地域視察団が極東ロシアを訪問

2017年9月にウラジオストクにおいて第3回東方経済フォーラムが開催され、日ロ両国首脳会談の実施や経済界からの出席者が多数いることから、日ロのさらなる発展が期待されており、日本国際貿易促進協会京都総局では、中国のほか東南アジアや北東アジアの多国間関係に関する最新の動きへの理解と情報収集を行うことを目的として、ロシア極東地域視察団をウラジオストクとナホトカヘ派遣することとなり、これに京都舞鶴港関係者が参加し、情報収集を行いました。

### 《訪問者(5名)》

(一社)京都舞鶴港振興会常務理事	新宮 敦雄
日本国際貿易促進協会京都総局専務理事	中重 節子
京都精管(株)代表取締役会長	柴崎 勇
RIO NET ASIA 代表	河村 政博

三菱ケミカル(株)大阪支社業務部門総務Gマネージャー  
山元 唯光

### 《日程》

8月30日(水) ウラジオストク着  
8月31日(木) 第33回ロシア極東学術シンポジウム参加、ウラジオストク日本センター訪問  
9月1日(金) ナホトカヘ移動、企業訪問、ポストチヌイ港等視察  
9月2日(土) ウラジオストク発



▲第33回ロシア極東学術シンポジウムに参加

## 9月20日(水)～9月24日(日) 韓国・東海市「GTI国際貿易・投資博覧会」に 京都舞鶴港ブースを出展

2017年7月、東海市の沈市長をはじめとする訪問団一行から参加要請のあった「2017 GTI国際貿易・投資博覧会」にブースを出展し、京都舞鶴港と日韓露国際フェリー航路のPRを行いました。

### 《訪問者(3名)》

京都府経済交流課副主査	川上 聡一
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	澤田 信幸
(一社)京都舞鶴港振興会主任	栢分 駿

### 《日程》

9月20日(水) 東海市着、北方物流研究支援センターとの協議  
9月21日(木) ブース対応、東草港国際旅客ターミナル竣工式参加、東草市長と会談  
9月22日(金) ブース対応、東海市長と会談  
9月23日(土) ブース対応、ソウルへ移動  
9月24日(日) 日韓交流おまつり見学、ソウル発



▲東海市長を表敬訪問



# 京都舞鶴港へのクルーズ客船誘致事業

3月12日(日)～3月18日(土)  
シートレード・グローバル2017に参加

世界のクルーズ業界関係者が一堂に会する「シートレード・グローバル2017」が米国・フォートローダーデールで開催され、観光庁主催の日本ブース出展者として参加しました。京都舞鶴港を広くPRするとともに、クルーズ船の積極的な誘致活動を展開しました。

《訪問者(2名)》

京都府海外経済課主任	水梨 和久
舞鶴市みなと振興・国際交流課主幹	中井 哲也

《日 程》

3月12日(日) フォートローダーデール着  
3月13日(月) クルーズ船社訪問  
3月14日(火) コンベンション・PR活動  
～16日(木)  
3月17日(金) フォートローダーデール発  
3月18日(土) 舞鶴着

4月10日(月)～4月13日(木)  
台湾クルーズプロモーション事業を実施

2016年度から運航されているコスタクルーズの日本海周遊クルーズを振興すべく、台湾から「フライ・アンド・クルーズ」で乗船する旅客を増やすため、台北市内で旅行者向けのPRイベントを実施し、知名度向上を図るとともに、台湾でのクルーズ市場の調査を行いました。

《訪問者(2名)》

舞鶴市みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長	小島 宏
まいづる広域観光公社	陳 嶸

《日 程》

4月11日(火) 台北着、JNTOと台湾クルーズマーケット調査  
4月12日(水) 5港湾都市連絡会議出席、コスタクルーズPRイベント参加  
4月13日(木) 台北発



▲台北市内の旅行者向けコスタクルーズPRイベントにて京都舞鶴港をPR



▲日本ブースでの全体セミナーの様子

## 4月27日(木)～5月2日(火) 京都舞鶴港クルーズキャラバンを実施

京都舞鶴港を発着するクルーズ客船の定着を図るため、舞鶴市長自ら乗船することにより、舞鶴発着クルーズの魅力を市民や近隣住民に対して広く発信するとともに、コスタ日本海周遊クルーズの他の発着港に所在する旅行会社や自治体関係者を訪問し、舞鶴をはじめとする「海の京都」地域の観光資源をPRしました。

### 《訪問者(7名)》

舞鶴市長	多々見良三
舞鶴商工会議所会頭	小西 剛
京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)代表取締役社長	大同 一生
京都府経済交流課 京都舞鶴港振興総括担当課長	西山 裕樹
舞鶴市みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長	小島 宏
舞鶴市広報広聴課長	三輪 紀子
舞鶴市観光商業課	高橋 美花

### 《日 程》

4月27日(木) 舞鶴港から乗船、石川県知事との懇談  
 4月28日(金) 金沢市内企業訪問、金沢市長と会談  
 4月29日(土) 境港管理組合との懇談、境港視察  
 4月30日(日) 釜山市内企業訪問、釜山港湾公社表敬訪問、釜山港視察  
 5月1日(月) 博多市内企業訪問、博多港視察  
 5月2日(火) 舞鶴着



▲船内にて石川県知事と会談



▲博多港旅客ターミナルを視察

## 5月16日(火) 東草市代表団が来訪

クルーズ船「コスタビクトリア」に乗船した韓国・江原道イビョンソン東草市長等代表団24名が、クルーズ船寄港による観光交流の促進及び環日本海圏クルーズ産業の発展に向け、江原道・京都府・東草市・舞鶴市間の連携を深化させるため、舞鶴市を訪問されました。

### 《訪問者(24名)》

東草市長	イビョンソン
東草市自治行政課長	イムホンビン
東草市北方物流係長	ハムギョンチャン
東草市観光お祭り広報係長	ソンテヨン
東草市随行秘書	パクトゥジン
東草市市政広報	ユヒョンイル
東草市繁栄会顧問	トンムンソン
東草市繁栄会会長	ユングァンフン
東草市繁栄会会長	キムテスン
東草市繁栄会副会長	カクチョルシン
東草市繁栄会理事	ハンスンヒ
東草市繁栄会第1事務次長	イムテシク
東草市繁栄会企画チーム長	キムインソプ
東草市繁栄会文化芸術チーム長	チョンウンヒ
東草市老人会会長	ホウンボク
東草市老人会事務局長	イジュチョン
東草市住民自治協議会会長	チェチョンヨル
東草市住民自治協議会事務局長	ハンチュンヒ
東草文化院院長	キムゲナム
東草市お祭り委員会委員長	ペクヨンチョル
芸総東草支部支部長	チョンボンジェ
民芸総東草支部支部長	パクミンヒョ
民芸総東草支部支部長	ホンソンエ
農協中央会東草支部支部長	キムヨンマン

### 《日 程》

5月16日(火) 多々見市長表敬訪問、市内視察

## 6月1日(木)～3日(土) 第5回中国クルーズサミット(青島)に参加

中国・青島市において開催された「第5回中国国際クルーズサミット(青島)」に、世界のクルーズ船社業界関係者に対し、京都舞鶴港をPRするため、また中国を発着するクルーズの動向を調査するため、カンファレンス等に参加しました。

### 《訪問者(2名)》

舞鶴市みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長	小島 宏
舞鶴市みなと振興・国際交流課主事	東 康太

### 《日 程》

6月1日(木) 青島着、クルーズサミット参加  
 6月2日(金) クルーズサミット参加  
 6月3日(土) クルーズサミット参加、青島発



## 10月1日(日)～7日(土) 欧州クルーズ船社へのPR活動を実施

ラグジュアリからカジュアルまでの幅広いクルーズ船による寄港・継続につなげるため、欧州のクルーズ船社に営業訪問し、京都舞鶴港のPR活動を実施しました。

《訪問者(2名)》

京都府経済交流課主任 水梨 和久  
舞鶴市みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長 小島 宏

《日 程》

10月1日(日) ロンドン着  
10月2日(月) クルーズ船社訪問、日本大使館訪問、日本の旅行社と会談  
10月3日(火) ポーツマスへ移動、ポーツマス市訪問、サウサンプトンへ移動、クルーズ船社訪問、ポーツマスへ移動  
10月4日(水) ドイツ・ハンブルクへ移動  
10月5日(木) クルーズ船社訪問  
10月6日(金) ハンブルク発  
10月7日(土) 舞鶴着



▲カーニバルUK (キューナード) の外観

## 10月16日(月)～18日(水) 環日本海クルーズ観光発展 カンファレンスに参加

東北アジアのクルーズ観光市場の多様化の一環として、日韓露を結ぶクルーズの活性化及び新航路の開拓可能性を発見するとともに、平昌冬季五輪をきっかけに多様なクルーズ商品の開発のための市場展望及び発展戦略を準備するため、環日本海クルーズ観光発展カンファレンスに参加しました。あわせて、日韓露国際フェリー航路の直行航路の早期開設に向け、DBSクルーズフェリー社に対し協力を要請するとともに、日韓コンテナ航路の今後の更なる発展に向け、船社と協議しました。

《訪問者(4名)》

京都府港湾局長 酒井 敦史  
京都府経済交流課副主査 川上 聡一  
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事 澤田 信幸  
舞鶴市みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長 小島 宏

《日 程》

10月16日(月) ソウル着、船社訪問  
10月17日(火) 船社訪問、企業訪問、江原道海洋観光センターと会談、カンファレンス参加、江原道主催夕食会参加  
10月18日(水) 船社訪問、ソウル発

## 11月1日(水)～4日(土) 2017シートレード・クルーズ・アジア 太平洋に参加

アジア最大のクルーズ・コンベンションである「2017シートレード・クルーズ・アジア太平洋」が上海で開催され、カンファレンスに参加し、クルーズ船社業界関係者に京都舞鶴港を広くPRするとともに、積極的な誘致活動を展開しました。

《訪問者(3名)》

京都府経済交流課主任 水梨 和久  
舞鶴市みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長 小島 宏  
舞鶴市みなと振興・クルーズ客船誘致係長 後 厚史

《日 程》

11月1日(水) 上海着、上海クルーズターミナル視察  
11月2日(木) カンファレンス参加  
11月3日(金) カンファレンス参加、上海呉淞口国際郵輪港との協議  
11月4日(土) 上海発



▲上海呉淞口国際郵輪港との協議の様子

# インバウンド誘客事業

## 1月17日(火)～23日(月) 「京都観光物産展inバンコク」に 舞鶴ブースを出展

タイ・バンコク市の商業施設ターミナル21で「京都観光物産展inバンコク」が開催され、舞鶴市観光関係者が舞鶴ブースを出展。地酒など物産の紹介及び個人客への観光PRに取り組みました。

### 《訪問者(2名)》

まいづる広域観光公社 釧菱 英明  
舞鶴市観光商業課 大西 宏明

### 《日程》

1月17日(火) タイ・バンコク到着  
1月18日(水) ブース対応  
～22日(日)  
1月23日(月) バンコク発



▲タイの有名人が京都観光物産展inバンコクをPR



▲京都観光物産展inバンコクの様子

## 2月28日(火)～3月3日(金) 日本と台湾の旅客輸送業による運行協定 お披露目式典にかかるPRイベントに参加

京都丹後鉄道を運営するウィラー株式会社及び台湾の國光バス(台北市)の運行協定にかかるお披露目式典における北近畿広域観光連盟の観光紹介ブースに、舞鶴

市観光関係者が参加し、舞鶴観光のPRを行いました。あわせて、台北市の旅行社へ訪問営業を行い、舞鶴の旅行商品の提案や具体的なツアーコースの提案を行うなど訪日客誘致活動に取り組みました。

### 《訪問者(1名)》

まいづる広域観光公社 陳 嶸  
《日程》

2月28日(火) 台湾・台北市着  
3月1日(水) 旅行社訪問  
3月2日(木) ブース対応  
3月3日(金) 台北発

## 6月20日(火)～26日(月) 日本の観光物産博覧会2017に出展

舞鶴市観光関係者と若狭湾観光連盟が連携し、台北市で開催された「日本の観光物産博覧会2017」に共同でブース出展し、舞鶴観光のPRを行いました。あわせて、旅行社、メディア社、出版社を営業訪問し、舞鶴の旅行商品の提案や具体的なツアーコースの提案を行うなど訪日客誘致活動に取り組みました。

### 《訪問者(3名)》

舞鶴市観光商業課 渋谷 元気  
まいづる広域観光公社 陳 嶸  
若狭湾観光連盟 岸本 昇

### 《日程》

6月20日(火) 台湾・台北市着  
6月21日(水) 旅行社、メディア社へ訪問  
6月22日(木) 旅行社、出版社へ訪問  
6月23日(金) 日本台湾交流協会訪問、ブース対応  
6月24日(土) ブース対応  
～25日(日)  
6月26日(月) 旅行社訪問、台北発



▲出展ブースの様子



7月21日(金)～26日(水)  
 香港ブックフェアでガイドブック  
 「海の京都、若狭路」を販売支援

舞鶴市観光関係者が7月19日(水)から25日(火)に香港コンベンション&エキシビション・センターで開催された香港最大の書籍見本市の香港ブックフェアにおけるWow mediaブースに参加し、2017年3月に販売開始したガイドブック「海の京都、若狭路」の販売支援を行いました。あわせて、旅行社及びメディア社を営業訪問し、舞鶴の旅行商品の提案や具体的なツアーコースの提案を行ったほか、政府機関を訪問し、情報収集を行いました。

《訪問者(3名)》

舞鶴市観光商業課	渋沢 元気
まいづる広域観光公社	劔菱 英明
若狭湾観光連盟	岸本 昇

《日程》

7月21日(金) 香港着、旅行社訪問  
 7月22日(土) ブース対応  
 ～23日(日)  
 7月24日(月) 旅行社、メディア社、政府機関訪問  
 7月25日(火) 旅行社、メディア社訪問  
 7月26日(水) 香港発



▲ Wow mediaブースの様子



▲ 香港ブックフェアの会場の様子

8月24日(火)～29日(月)  
 第3回Touch the Japan in台湾で  
 海の京都ブースを出展

第3回Touch the Japan in台湾において、海の京都地域の観光資源をPRするため、海の京都地域関係者が海の京都ブースを出展しました。民間事業者とともに、海の京都の魅力を発信しました。

《訪問者(11名)》

まいづる広域観光公社	陳 嶸
海の京都DMO部長	栗山 晃司
海の京都DMO	藤原 清人
天橋立観光協会局長	中島 明
天橋立観光協会	林 亦峰
京丹後観光協会局長	谷口 貴章

ほか、民間事業者5名

《日程》

8月24日(火) 台北着  
 8月25日(水) ブースアテンド  
 8月26日(木) ブースアテンド  
 8月27日(金) ブースアテンド  
 8月28日(土) ブースアテンド  
 8月29日(日) 企業訪問、台北発

## 市民主体の国際交流

1月27日(金)～2月8日(水)  
カナダ・バンクーバー生徒  
日星高校で文化交流を体験

日星高校の姉妹校カナダ・バンクーバーのセントパトリック高校の高校生が、日星高校を訪問。日本文化の体験や授業へ参加するとともに、滞在中は日星高校生宅にホームステイしました。



▲留学生の書道体験の様子

3月5日(日)  
「たぶんかサロン」多文化共生  
スキルアップ講座を開催

NPO舞鶴国際交流協会が行っている舞鶴市在住の外国人と日本人が気軽に交流し、お互いの国の文化を学ぶことのできる「たぶんかサロン」の一環として、日本語支援ボランティアを育成するための多文化共生スキルアップ講座「日本語の教え方 基礎・入門編」を開催されました。



▲多文化共生スキルアップ講座の様子

3月12日(日)  
JICA関西タウンミーティング  
「舞鶴が主役!これからの国際協力」を開催

JICA関西は、地域創生の切り口から今後の国際協力について市民とともに考えることを目的として、京都で初めてとなるタウンミーティングを舞鶴市において開催されました。タウンミーティングは、西駅交流センターで開催され、講話「舞鶴が主役!これからの国際協力」(JICA関西所長 大西 靖典)及び参加型ワークショップ「みんなで考えよう!舞鶴が主役の国際協力」が実施されました。



▲京都初のタウンミーティングが舞鶴市で開催



5月20日(土)

## 「地球のステージ7」が開催

舞鶴商工観光センターで、海老名こころのクリニック院長・桑山紀彦さんのライブ「地球のステージ」が開催されました。約30年間にわたって世界各地で医療救援活動を続けている桑山さんが、協力活動の中で撮りためた映像と出会った人々の「輝き」をオリジナルの音楽と語りで伝えました。第2部では、宮城県名取市閉上中学校遺族会の丹野祐子さんが講演し、東日本大震災の被災地の様子を伝えました。

5月26日(金)～29日(月)

## 「中日アカシア巡りウォーキング大会」に舞鶴市民が参加

大連市で実施された「中日アカシア巡りウォーキング大会」に舞鶴国際交流協会の呼びかけにより舞鶴市民18名が参加しました。参加者はウォーキング大会への参加を通じて大連市民との交流を深めるとともに、大連市内や旅順を見学しました。

6月10日(土)～11日(日)

## 「体験型留学生ツアー」で京都産業大学留学生が来訪

北近畿みらいの主催で、京都産業大学の留学生ら22名が舞鶴市を訪問しました。参加者は杉山地区で散策やピザ焼き体験や野原地区で砂浜清掃活動などに参加し、地元の自然を楽しみ、地域住民との交流を深めました。

6月11日(日)

## 2017年度インターナショナル与保呂フェスティバルを開催

与保呂小学校では世界に目を向けたくましく生きる児童の育成を目指し、毎年、「インターナショナル与保呂フェスティバル」を開催しています。本年は、李芳・国際交流員や京都産業大学の留学生の参加を得て開催され、全校児童との交流を行いました。参加者は出身国の紹介や外国語を使ったゲームを通じて交流と相互理解を深めました。



▲李芳国際交流員や京都産業大学留学生が児童に外国の文化を紹介



▲野原海岸の砂浜清掃活動に参加

6月18日(土)

### 舞鶴高専留学生との交流会を開催

舞鶴国際交流協会が、舞鶴高専に留学しているマレーシア、タイ、ルワンダからの留学生3名と交流会を開催しました。田辺城を見学後、西市民プラザでの交流懇話会では日常生活における生活スタイルや文化の違いなどについて意見交換を行い、相互理解を図りました。

7月27日(木)

### 韓国・パイントゥリーホーム院生が舞鶴学園を訪問

児童養護施設「舞鶴学園」では、日韓両国の児童養護施設で生活している子どもたちが交流をすることによって国際理解を深め、豊かな心を育むため、韓国・仁川市の児童養護施設「パイントゥリーホーム」と、毎年夏と冬に互いの国を訪問する日韓交流事業を行っています。本年は同ホームから院生3名と職員1名が来訪。一行は滞在中、浮島丸殉難の碑に献花を行ったほか、茶道体験やお互いの国の料理を作るなどして交流を深めました。

8月2日(水)～31日(木)

### 南公民館でパネル&写真展「ウズベキスタンってどんな国」を開催

8月2日(水)から31日(木)の間、南公民館でパネル&写真展「ウズベキスタンってどんな国」を開催しました。ナヴォイ劇場を建てた抑留者など引き揚げを通じた舞鶴との縁やウズベキスタン共和国という国を学ぶパネルや写真を展示し、ウズベキスタンへの理解を深めました。



▲パネル&写真展の様子

8月8日(火)～9日(水)

### 「体験型留学生ツアー」で龍谷大学留学生が来訪

北近畿みらいの主催で、龍谷大学の留学生ら21名が舞鶴市を訪問しました。参加者は宮津市や京丹後市でのアクティビティに加え、杉山地区でピザ焼き体験やあそびあむで子ども遊び体験などに参加し、地元の自然を楽しみ、地域住民との交流を深めました。



▲あそびあむで子ども遊びを体験

11月2日(木)

### 倉梯小学校が「ワールド教室」を開催

倉梯小学校では、海外出身者を招へいし、一緒に学習することで異文化理解を図り、自国の文化を尊重する態度を育成することを目的として、「ワールド教室」を開催しています。李芳国際交流員やレアルトゥル国際交流員、京都市内の外国人留学生が、クラスで授業に参加し、出身国の話や児童とゲームをすることで、交流と相互理解を深めました。



▲李芳国際交流員やレアルトゥル国際交流員と児童がゲームをしている様子



## 11月10日(金)～12日(日) 舞鶴ユネスコ協会が「世界児童絵画展」 を開催

舞鶴ユネスコ協会が、ショッピングセンターらぼーるにおいて、「世界児童絵画展」を開催しました。市内の幼稚園、小・中学校のほか、姉妹・友好都市であるロシア・ナホトカ市、中国・大連市の子どもの絵画が50点展示され、3日間で、2995人の来場がありました。

## 11月11日(土) にほんご教室が試験的に開講

2014年の舞鶴ライオンズクラブ主催「かもめの学校」が閉鎖されて以降、日本語教室空白地域解消に向け、舞鶴国際交流協会や京都府国際センター等と協力し、「日本語支援ボランティア養成講座」などを実施してきました。2018年度の「にほんご教室」立ち上げに向け、舞鶴市は舞鶴国際交流協会と協力し、11月11日から「にほんご教室」を試験的に開講しました。



▲にほんご教室の様子

## 11月21日(火) 余内小学校が国際理解教室を開催

余内小学校では、世界の国々に対する理解を深め、友好的で平和な国際社会の一員として生きる力の基礎を育むため、「国際理解教室」を実施しており、本年で5度目の実施となります。児童たちは講師の李芳・国際交流員から、友好都市・大連市の概要や、中国語の簡単なあいさつ、中国の遊び、文化や習慣などを学び、異文化に対する理解を深めました。



▲李芳国際交流員が児童に中国文化を紹介

## 11月24日(金) タシケント国立東洋学大学付属校(アルマザール校) と日星高校による生徒WEB交流を実施

ウズベキスタンとの交流を進めるため、タシケント国立東洋学大学付属校(アルマザール校)と日星高校の高校生同士がWEBを活用して直接対話をし、相互理解を深めました。



▲日星高校とアルマザール校との交流の様子

12月7日(木)～23日(土)  
日星高校生 カナダ・バンクーバーで  
短期研修

12月7日(木)から23日(土)の間、日星高校の生徒が海外研修としてカナダ・バンクーバーに訪問しました。姉妹校セントパトリック高校との学校交流やホームステイを実施しました。



▲研修生の記念撮影

12月9日(日)  
舞鶴国際交流協会がウズベキスタン  
料理教室を開催

舞鶴国際交流協会では、異文化理解を深めるため、毎年外国料理教室を開催しています。本年はレアルトゥール国際交流員を講師に招き、ウズベキスタン料理教室を開催し「プロフ」を作りました。



▲プロフ作りの様子





# 国際交流員としての1年間

2016年度舞鶴市国際交流員

孫 亜 南

大連市と舞鶴市は1982年5月に友好都市を提携し、その後35年にわたり経済・貿易、文化、スポーツ、観光など幅広い分野において、行政交流のみならず市民レベルでの交流を進めてきました。そのような中、両市市民の理解と友情をさらに深めるため、2004年から毎年大連から国際交流員が舞鶴市へ派遣されています。私も友好交流の架け橋として両市の交流事業に微力を尽くしたいと思い、2016年度舞鶴市国際交流員(12代目、11人目)として舞鶴に赴任しました。

2016年4月10日、故郷を離れ、日本へ向けて出発しました。東京での二日間のオリエンテーションを経て、4月13日に舞鶴市に着きました。日本は初めてではありませんが、全く知らないところで今までとは全然違う仕事をするには本当に不安でしたが、職場の上司や同僚、様々な場面で出会った市民の皆さんに親切にいただいたおかげで、不安は和らぎ、仕事も順調に進み、とても充実した日々を過ごすことができました。

国際交流員の仕事は多岐にわたりますが、大まかに三つの分野に分けられます。一つ目は友好都市などとの交流事業の支援と翻訳・通訳業務、二つ目は国や故郷のことを舞鶴市民の皆さんへの発信すること、そして三つ目は舞鶴市のことを中国・大連の人々にPRすることです。

## 1. 友好都市などとの交流事業支援と翻訳・通訳業務

既述のように、舞鶴市は大連市と友好都市提携を実現してから、様々な分野において豊富な交流を展開してきました。私のいた一年間においても、両市間では訪問団や使節団を交互に派遣し、交流や理解を深めようと努めてきました。各種訪問団の来訪前の計画や事務連絡といった、事前調整を行うことも私が所属していたみなと振興・国際交流課の仕事です。私も担当者と協力し、訪問先や中国の担当者とスケジュール調整などをしました。

また、国際交流員として、翻訳・通訳の業務も多くこなしました。この一年間に舞鶴市と大連市では、アカシア祭り、中日観光大連ハイレベルフォーラム、京都舞鶴港セミナー in 大連に参加するための訪問団の派遣や大連市少年使節団、大連市国際貿易促進委員会大連市分会訪問団の受け入れなど計9回の派遣と受入を行い、すべてにおいて通訳の業務を担当させていただきました。そのほかにも、行政文書・観光パンフレットの翻訳なども行いました。

- ① 大連市「中日観光大連ハイレベルフォーラム」参加事業(2016年5月)
- ② 大連市友好協会訪問団受入事業(2016年5月)
- ③ 大連市少年使節団受入事業(2016年8月)
- ④ 大連市現代博物館訪問団受入事業(2016年9月)
- ⑤ 大連市中日韓友好都市市民親善卓球大会参加事業(2016年9月)
- ⑥ 大連市画家訪問団受入事業(2016年11月)
- ⑦ 中国国際貿易促進委員会大連市分会訪問団受入事業(2016年12月)
- ⑧ 大連引揚関連資料調査事業(2017年2月)
- ⑨ 京都舞鶴港 in 大連参加及び上海クルーズ船社訪問事業(2017年2月)

## 2. 舞鶴市民への情報発信

他国のことを知ろうとすると、多くの人は新聞やニュースを通じて知識や情報を得ます。しかし、新聞もテレビも自分の立場・視点をもっていますので、そこから得た情報がすべて正確であるとは限りません。そのため、国際交流員として、できるだけ客観的な立場から生の中国や生の大連について舞鶴市民に伝えることを心がけました。

### (1) 語学講座の実施

舞鶴市民の皆さんに中国や大連への関心を持ってもらうために、NPO法人舞鶴国際交流協会が主催する週に一回の中国語講座で講師を担当させていただきました。講座では、単なる語学講座にとどまらず、中国や大連の文化や豆知識なども交えながら受講者の皆さんと一緒に楽しく学習をしました。

MIA主催の中国語講座の他に、京都府教育委員会認定フリースクール「聖母の小さな学校」でも中国語講師を担当させて頂きました。「聖母の小さな学校」は不登校の生徒が通うフリースクールで、異文化理解を通じて視野を広げ、他者と向き合う関心を育てる事業の一環として、中国語・中国文化講座を実施しました。授業では語学の知識を教えるより、引きこもっていた生徒が中国の切り紙や中国風の編み物など様々な体験学習を通して社会へ出て行けるように色々工夫をしました。



▲聖母の小さな学校での中国語講座の様子



▲舞鶴国際交流協会での中国語講座の様子

### (2) 学校訪問

中国の文化や最新事情などの紹介を通じて、市内学校の児童や生徒の国際理解を深め、外国の人々とのコミュニケーションや国際感覚を養うことを目的として学校訪問を行いました。

- ① インターナショナル与保呂小学校フェスティバル(2016年6月)
- ② 大連市少年使節団受け入れ事業に係る倉梯小学校での事前中国語講座(2016年5月)
- ③ 余内小学校異文化理解教室(2016年10月)
- ④ 倉梯小学校「ワールド教室」(2016年6月)
- ⑤ 東舞鶴高校・国際文化コース中国語講座(2016年11月)



### (3) 市民団体への出前講座・料理教室の開催

舞鶴の市民団体のニーズに応じて、様々な面から中国を紹介しました。ときには自分の詳しくない分野もあり、事前勉強をして講座に臨みました。その結果、自国の文化を見つめ直すことができ、自分にとっても大変勉強になりました。また、料理教室を開催し、舞鶴にいながら本場の中国料理を楽しんでいただき、食事を通じて中国の文化を身をもって理解していただくことができたと思います。

- ① YMCA「グローバル文化歴史研究」における講演(2016年6月)
- ② 舞鶴ロータリークラブにおける卓話(2016年9月)
- ③ 舞鶴国際交流協会における外国料理教室(2016年12月)
- ④ 舞鶴市職員共済組合における料理教室(2017年2月)
- ⑤ 真名井自治会における料理教室(2017年3月)
- ⑥ 市民自主勉強会「モナミゼミ」における講演(2017年3月)



▲舞鶴市職員共済組合の餃子作り料理教室の様子

### (4) 広報まいづるの執筆

より多くの舞鶴市民に中国や大連の情報を理解していただくために、「ロマンチック大連」というテーマで大連の伝統文化、各種のお祭りや日常生活などについて広報まいづるに5回記事を掲載しました。

---

## 3. 中国や大連の人々に対する舞鶴市のPR

---

国際交流員として、中国や大連の文化を舞鶴市民の皆さんに紹介することだけでなく、舞鶴のことを中国の人々に伝えることも大切な業務です。そのため、クルーズ客船寄港時の外国語観光案内や中国への舞鶴市PRブログの発信なども担当させて頂きました。

### (1) クルーズ客船寄港の受け入れ

2013年からクルーズ客船が初寄港して以来、2016年は寄港回数が17回と飛躍的に増えました。客船が寄港した際に、埠頭や駅などで通訳案内を務め、また府民がクルーズ客船に親しむための船内見学会で案内役を務めました。

### (2) 中国への舞鶴市PRブログの発信

舞鶴で生活している間に目で見、体で覚え、心で感じたことを「Weibo(中国版Twitter)」にて中国の人々に伝えました。舞鶴の四季折々の美しい景色、美味しい食事、魅力的な観光名所、各種のイベントや祭りを写真や文字を通じて舞鶴市をPRしました。その結果、ブログを見た中国人観光客から観光の問い合わせも寄せられました。

---

## 4. おわりに

---

一年間を振り返って、赴任前は舞鶴での生活はどんなものになるのか想像もつかず、そして初めての海外勤務で、不安を覚える時期もありましたが、舞鶴市役所みなと振興・国際交流課の皆さん、舞鶴市で知り合った友人や市民の皆さんが温かく支えてくださったお陰で、仕事を順調に進めることができました。この場を借りて、皆さんに心からお礼を申し上げたいと思います。

国際交流員の任期は終了しましたが、両市の国際交流は今後も未永く続いていくことを期待しています。私は帰国後、元の職場で大学の日本語教師を務めていますが、中国でも日本語科の学生たちに舞鶴市のことを紹介し、舞鶴市への理解を深めてもらっています。そして、舞鶴市民の皆さんも大連へいらっしゃる時は是非声をかけてください。また大連でお会いできたときは一緒に舞鶴での思い出話をしましょう。皆さん、お元気で。

## 各種ホームページの紹介

姉妹都市・友好都市のホームページや海外安全情報などのホームページを紹介します。  
いろいろな情報の検索に便利ですので、ぜひご利用ください。

<http://www.nakhodka-city.ru/>

ナホトカ市のホームページです。ナホトカ市の歴史・教育・産業・経済自由区や観光案内などを検索することができます。(ロシア語・一部英語版あり)

<http://www.dl.gov.cn/>

大連市のホームページです。大連市の概要・投資ガイド・観光案内などについて検索することができます。(英語・中国語・日本語版等)

<http://www.portsmouth.gov.uk/>

ポーツマス市のホームページです。観光案内・市役所の仕事などについて検索することができます。(英語版)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

外務省のホームページです。在外公館のニュースや安全情報を検索できます。(日本語・英語版等)

<http://www.city.maizuru.kyoto.jp/>

舞鶴市のホームページです。姉妹・友好都市との交流や市政全般の情報を検索することができます。(多言語自動翻訳システムを導入)

<http://www.npomia.com/>

NPO法人舞鶴国際交流協会のホームページです。在住外国籍市民との交流や支援などを中心に活動を展開しています。

<http://www.port.maizuru.kyoto.jp/>

一般社団法人京都舞鶴港振興会のホームページです。京都舞鶴港の概要や定期航路、クルーズ客船、港湾施設等についての情報が掲載されています。





## 国際交流 2017年

—平成29年国際交流報告書—

2018年(平成30年)3月 印刷

発行 舞鶴市産業振興部みなと振興・国際交流課  
〒625-8555 京都府舞鶴市北吸1044  
TEL 0773-66-1037

印刷 株式会社 コザイ印刷